

「まかせんさい」広島市女性農業士 ～この一年をふりかえって～

第7期第1号

(平成20年度)

発行:平成 21年 3月 (財)広島市農林水産振興センター園芸課

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目 30-12

TEL(082)845-4347 FAX(082)842-2149

広島市女性農業士とは

広島市女性農業士は、農家女性のリーダーとして広島市が認定するものです。女性農業者の社会参加の促進と、農業者全体の社会的地位向上を目指し地域でさまざまな活動を行なっています。現在21名が認定されています。

第7期広島市女性農業士 誕生



平成20年6月13日、第7期女性農業士認定式が広島市役所で行われ、秋葉市長から認定証書が授与されました。新しく認定された第7期女性農業士3名はこれから2年間の研修をうけ、地域での活動に活かしていきます。

第7期女性農業士 3名のプロフィール

石光六恵さん
(安佐南区川内)



市場向けに春夏はキュウリ、秋冬は広島菜や軟弱小物を生産。地域の若い農家女性のよきアドバイザーとして活躍しています。

女性農業士としての抱負
「自身の農業技術の向上と地域農業の発展のために尽くしたい」

西川早栄子さん
(安佐北区勝木)



しいたけ栽培を行っています。よがんす可部出荷組合長として、直売所の運営、発展に尽力しています。

女性農業士としての抱負
「女性農業士として誇りを持って、地域活性に励んでいきたい」

山田憲美さん
(安佐南区八木)



トマトをはじめ、軟弱小物など多品目栽培を行い、市場や直売所に出荷しています。広島市における定年帰農のモデルケースになっています。

女性農業士としての抱負
「定年退職後など、これまで農業に縁がなかった人の就農へのきっかけづくりなどを行っていききたい。」

第7期女性農業士研修 1年の歩み

20年度は計6回の研修を行いました。

第1回 (6月13日) 広島市女性農業士に望まれること ～先輩女性農業士に学ぶ～



認定式後、対話形式で第1～6期の女性農業士から、今後2年間の研修にのぞむにあたっての心構え、地区での活動の様子などを学びました。

第2回 (10月1日) 表現力の向上について 講師：話し方研究家 大崎恵美子先生

広島市女性農業士として必要な表現力を学ぶために、発声練習、あいさつ、自己紹介のしかたなど、実技を取り入れた研修を行いました。
笑顔やアイコンタクトの重要性を改めて認識しました。



第3回 (10月31日) 広島市の農業について 講師：農林水産振興センター 戸田理事長



広島市の農業の現状やこれからについて講義がありました。それらを踏まえ、女性農業士として地域に後継者を増やしていくことや、自分の考えをきちんと表現していくことの大切さについて学びました。その後、直売所を運営していく中での問題点について、皆で意見交換を行いました。

第4回 (1月26日) 市内農家視察

広島市内の農家の視察を行いました。
女性農業士の先輩のほ場や加工場を見学しました。活躍ぶりを間近で見ることができ、大いに刺激を受けました。



第5回 (2月23日) 直売所の運営と地域づくり 講師：からり直売所出荷者協議会名誉会長 野田文子氏



野田さんの明るく、前向きな雰囲気と、自身の体験を基にしたお話に、元気と今後の直売所の運営についてのヒントをいただきました。直売所をツールにして利用すれば、農家のアイデア次第で何でも出来るという言葉に農業の可能性を感じました。

第6回 (3月24日) 市外農家視察 講師：岡山県農業士犬飼和子氏

岡山県総社市で軟弱小物の周年栽培を行っている犬飼農園の視察を行いました。
栽培のノウハウから、経営まで快くお話いただき、これからの農業を行っていく上で非常に参考になりました。

